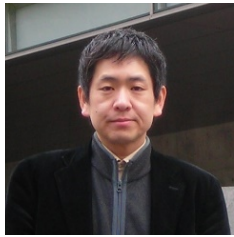


コロナ禍における歴史文化観光地域の現状―高山市と犬山・郡上市の城下町―



末田 智樹 SUETA, Tomoki

中部大学人文学部歴史地理学科教授

福岡県出身。岡山大学大学院文化科学研究科産業社会文化学専攻博士課程修了。博士（経済学・学術）。専門分野は経済史、商業経営史、歴史地理学。江戸期の豪商経営や捕鯨業史、百貨店史に関心があり、東海地方では松坂屋（伊藤家）の研究を進めてきた。著書に『藩政捕鯨業の展開』（御茶の水書房、2004年）、『日本百貨店業成立史』（ミネルヴァ書房、2010年）、『老舗百貨店の接客法』（風媒社、2019年）、『日本百貨店業発展史』（ゆまに書房、2022年）がある。

ABSTRACT

In this project, we conducted a field survey on the tourism situation under the Corona disaster. First, we conducted a survey of the castle town of Takayama City, focusing on winter tourism events. Second, in order to compare with Takayama City, we surveyed two castle towns, Gujo City in Gifu Prefecture and Inuyama City in Aichi Prefecture, focusing on infection prevention measures. Infection prevention measures were observed in restaurants and tourist facilities in each castle town. Gujo City and Inuyama City were very crowded with tourists, as was the case before the Corona disaster.

1. はじめに

飛騨高山班の2021年度における3年目の研究プロジェクトでは、城下町である高山市と、同市に近く城下町を中心とした歴史文化観光地域を形成している犬山市と郡上市を比較することにした。そして3つの観光地の地域性を探るために、歴史文化観光施設を中心に観光状況を調査した。また現在コロナ禍であるため、各観光地域・施設の感染防止対策に着目しながら、本年度は歴史地理学科4年次の古川穂高、岡野七海、小林玲奈、小嶋朔菜と一緒に現地調査を行った。

本調査内容は大幸財団2020年度第9回人文・社会科学系学術研究助成に採択されており、以下の調査研究においても活用している。なお、本文では調査実施の日順に述べており、写真（図1～24）については筆者が現地で撮影したものである。

2. 郡上城下町のコロナ禍の観光状況

2021年11月13日（土）に調査を行った。岐阜県郡上市では、奥美濃地方において屈指のもみじの名城で知られる郡上八幡城および、高山市と同様に重要伝統的建造物群保存地区を有する城下町を中心に、歴史文化観光地域が形成されている。

新型コロナの新規感染者数は、10月の緊急事態宣言解除後も低位で推移していた。このため、飲食店・宿泊施設等の観光関連業種を含め国内経済活動の再開が進んだ。郡上城下町の歴史文化観光施設や飲食店の各店舗では感染防止対策が行われ、そのようななか多くの観光客がみられた。各店舗では、入口における表示や店舗入口・店内において消毒用アルコールを配置していた。また、表示には必ずマスクの着用や手指の消毒はもちろん、利用者同士は間隔を空けて、大声での会話や混雑する場合の入店制限などが書かれていたことが視察できた。



図1. 郡上八幡城での感染防止の案内板



図2. 吉田川での感染防止の立看板

また、郡上市では江戸時代から「水環境」を活かしたまちづくりや、日本三大盆踊りの1つである「郡上おどり」を活用した誘客が行われていたことが確認できた。



図3. 店舗入口の表示と消毒用アルコールの設置



図4. 店舗入口のマスク着用と手指消毒のポスター



図5. 郡上八幡博覧館
郡上おどりミュージアム



図6. 郡上八幡城と紅葉



図7. 賑わっている郡上城下町



図8. 郡上八幡駅（古川君）

3. 犬山城下町のコロナ禍の観光状況

2021年11月28日（日）に調査を行った。愛知県犬山市では、現存する最古の天守閣を持つ国宝五城の1つの犬山城とともに形成された城下町を中心とした歴史文化観光地域がみられる。

2020年の同時期にも調査を試みたが、その際には従来よりも観光客の減少が視察できた。これに対して今回は観光客が大幅に増加していたことが確認できた。また、昨年同様に犬山城の観覧では人数制限が行われていたものの、入場方法が改良されていたため、コロナ禍以前のように比較的スムーズに観覧することができた。

犬山城下町の飲食店や歴史文化観光施設内においても感染防止に向けた対策が、郡上城下町で視察できたように徹底されていたが、一方でフィジカル・ディスタンスが保てないほどの観光客で混雑していた。また犬山城下町は、古民家を活かした飲食店の豊富さに特色を持つ観光地であったことが確認できた。



図9. 犬山城入口の消毒用アルコールの設置



図11. 賑わっている犬山城



図10. 犬山城の待ち時間の案内板



図12. 犬山城下町での感染拡大防止へのご協力案内

4. 高山城下町のコロナ禍の観光状況

2022年1月24・25日（月・火）に調査を行った。今回は2020年に引き続き、城下町観光の中核である三町と隣接する商店街で開催された「二十四市」を調査した。二十四日市は、毎年1月24日に開催される明治初期から続く伝統の市である。コロナ禍のため2021・22年は歩行者天国にせず規模縮小し、飲食店の出店中止という形で開催されていた。

また、2020年7月に開通した宮川行神橋周辺に人の流れを誘引して滞留させ、その滞留した人を本町3丁目商店街や周辺エリアに誘導する整備が行神橋の左岸側で進められていた。その「賑わい創出施設」は2022年4月に開始予定で、工事が急がれている様子も確認できた。当初、1月28日（金）から3月6日（日）までの開催日程の「飛騨高山酒蔵のん兵衛まつり」は、岐阜県が1月21日（金）より「まん延防止等重点措置」の適用地域となったため、3月7日（月）以降に延期された。

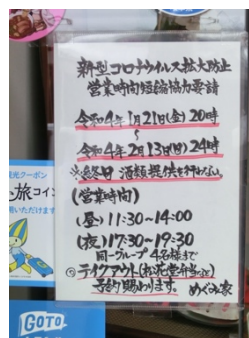


図 16. 飲食店での営業時間短縮の案内



図 17. 商店街の感染防止のポスター

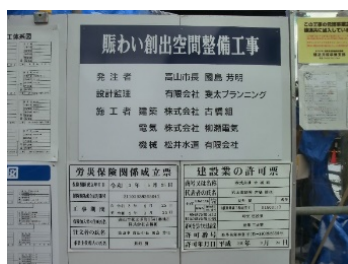


図 18. 商店街の賑わい創出空間整備事業の立看板



図 19. 赤い中橋
(古川君、小嶋さん、岡野さん)



図 20. 高山駅での広告
「飛騨高山酒蔵のん兵衛まつり」



図 21. 商店街の二十四日市



図 22. 二木酒造前
(古川君、小嶋さん、岡野さん)



図 23. 飛騨国分寺三重塔
(岐阜県重要文化財)

5. おわりに

東海地方の城下町観光の代表格である高山市と比較するために、3年目は高山市のほか郡上市と犬山市の城下町を調査した。視察と聞き取り調査においてコロナ禍における歴史文化観光地域の現状としては、(1) 2021年11月はコロナ禍以前のように観光客が多くみられ盛況であった。

(2) 3つの城下町の歴史文化観光施設や飲食店の各店舗では、できる限りの感染防止対策が取られていた。(3) 3つの城下町では、ともに国内外の団体客と外国人観光客の減少が確認できた。

また、国際観光都市である高山市が持続可能な観光地として目指す特色としては、四季を通じた観光イベントが展開され、冬の観光イベントにも力を入れていた。観光の中心である高山三町と隣接地域との連携や、高山市が広域観光の中核地として機能していたことがわかった。

しかし観光モデル都市である高山市においても、全国の地方都市で最重要課題となっている人口減少・少子高齢化や、観光地ならではの宿泊施設の問題など様々な課題が生じており、決して観光的優位性のみが先行しているわけではないことも理解できた。それにもかかわらず、高山市にひとを呼び込むために、魅力ある観光地づくりや国内外への販売戦略の推進、かつ市内において住みやすく働きやすい環境整備を進めるなど、持続可能な観光振興と市全体の発展に向けて、常にデメリットを解決していく努力と工夫が積み重ねられていることが確認できた。このため今後も、高山市は注目され続けるサステナブルな地方創生を目指す都市であることは間違いない。

主要参考文献（文献は刊行順）

- (1) 飛騨・高山天領三百年記念事業推進協議会編（1992）『飛騨高山 明治・大正・昭和史』同。
- (2) 足立重和（2010）『郡上八幡 伝統を生きる - 地域社会の語りとリアリティ』新曜社。
- (3) 渡部一二（2010）『水の恵みを受けるまちづくり - 郡上八幡の水縁空間』鹿島出版会。
- (4) 高山市企画管理部企画課編（2015）『高山市第八次総合計画』高山市。
- (5) 林上編著（2018）『飛騨高山 - 地域の産業・社会・文化の歴史を読み解く』風媒社。
- (6) 高山市教育委員会編（2019）『高山市史 近現代編（下）』同。
- (7) 犬山市教育委員会歴史まちづくり課編（2021）『国宝 犬山城 城下町まち歩き』同。
- (8) 高山商工会議所編（2021）『高山商工会議所ビジョン【NEXT takayama】』同。
- (9) 高山市商工観光部観光課「高山市の観光振興について」（最終閲覧日：2022年2月14日）
http://www.city.takayama.lg.jp/_res/projects/default_project/_page/_001/004/030/shiryoku7.pdf
- (10) 郡上市『第2期郡上市観光振興ビジョン平成28年度～平成32年度』（最終閲覧日：2022年2月14日）
https://www.city.gujo.gifu.jp/admin/docs/2nd_kanko_vision.pdf
- (11) 犬山市『犬山市観光戦略（冊子イメージ：案）』（最終閲覧日：2022年2月14日）
https://www.city.inuyama.aichi.jp/_res/projects/default_project/_page/_001/006/132/05-8_sassiime-ji.pdf

付記

本年度は、人文学部歴史地理学科4年生の古川穂高君、岡野七海さん、小林玲奈さん、小嶋朔菜さんに参加してもらい、郡上市、犬山市、高山市の調査を行った。なかでも古川君は2年生から3年間、本研究プロジェクトのすべてに参加してもらい、一定の成果を出すことに貢献してくれた。1年目に参加し卒業した鶴飼要君、塩屋木雲君を含め6名の皆さんに、記して心から感謝したい。



図 24. 歴史地理学科の参加学生
古川穂高君（後列）
岡野七海さん、小林玲奈さん
小嶋朔菜さん（前列左から）